

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%	○				
算数	63.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%				○	
情報の扱い方に関する事項	86.9%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%	○				
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%	○				

【考察】

- 登場人物の人物像や心情、相互関係などについて、描写を基に捉えることや書かれている情報を整理して理解することに課題が見られました。文章に書かれていることを正しく読み取る力を高めていくために、会話文や文章表現、資料などを手がかりにしながらかみ進めていく指導を充実させていきます。
- 「書くこと」の領域では、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にして書くことに課題が見られました。書く材料を分類したり関係付けたり、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、より相手に伝わる書き方について指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%	○				

【考察】

- 「変化と関係」の領域では、「速さ」の理解に課題が見られました。速さ、道のり、時間の関係性について確認するとともに、数直線や図などを使って考えたり説明したりすることにより、よりよい解決方法を見だし、正しい答えを求めることができるように指導していきます。
- 基礎・基本の確実な定着を図るために、数値や式の意味について考えさせたり、適用問題の時間を確保したりするなど、指導の工夫を図ります。また、反復練習にも積極的に取り組ませていきます。

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
6	白二小	26.9	56.4	14.1	2.6

(単位 %)

### 【考 察】

- 自分で学び方を考え工夫できていると回答している児童が多いです。今後も、問いをもって学習に取り組み、自分で調べたり友達と話し合ったりして解決することを通して、学び続ける子どもを育てていきます。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときには、辞書や資料集、図書館の本などを活用して自力解決にあたりたり、友達と学び合ったりして、解決にあたる授業を推進していきます。また、一人一人に応じた支援の充実を図り、学習内容の定着に努めていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
6	白二小	3.8	9.0	33.3	37.2	9.0	7.7

(単位 %)

### 【考 察】

- 学校が目標としている70分（学年×10分+10分）を達成していない児童が約半数見られます。家庭学習の習慣が身につくよう宿題や自主学習の充実に向けた取り組みを指導していきます。
- 今後も、学校の「家庭学習の手引き」を活用し、児童の実態に応じた宿題や課題のあり方などを工夫していきます。家庭での動画やテレビの視聴、ゲームの時間が長い様子が見られますので、家庭との連携による「メディアコントロール」の推進により、学習時間の確保と充実に取り組んでいきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
6	白二小	29.5	53.8	12.8	3.8

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が、学習内容を見直して次の学習へとつなげようと努めている様子が見られます。今後も、「分からないことをそのままにしない」という意識をもって学習に取り組むことができるよう指導していきます。
- 授業の終わりに、その時間でどんなことを学んだのかを振り返ったり、学習を通して感じたりしたことなどを教科日記にまとめる活動を行っています。今後も、この活動を通して学習内容の定着を図り、次の授業での課題づくりに役立てていけるように努めていきます。

4 自分には、よいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	43.4	40.7	10.5	5.4
6	白二小	32.1	44.9	17.9	5.1

(単位 %)

【考 察】

- 児童が自信をもって生活し、学習活動に取り組むことができるように、一人一人のがんばりを認めたり、励ましたりするとともに、他の児童へも広げていけるよう指導していきます。
- 学級活動や帰りの会などの機会を生かし、児童相互の認め合いや励まし合いを大切にすることで、自分への自信を高めるとともに、学級・学年での児童間のつながりも深めていけるように努めていきます。